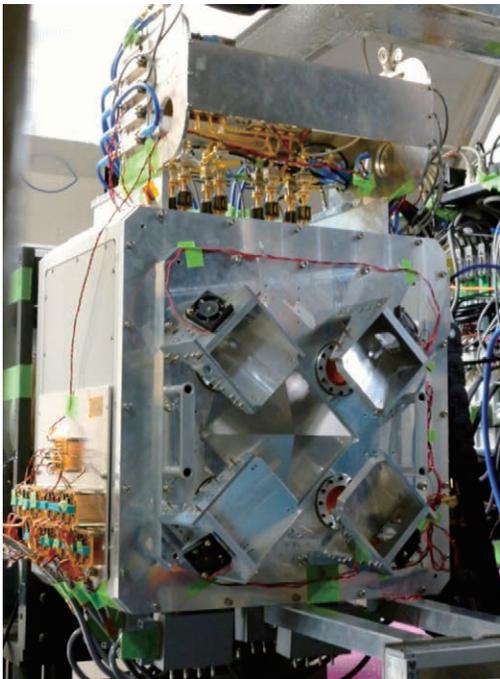


野辺山レガシー特集ギャラリー



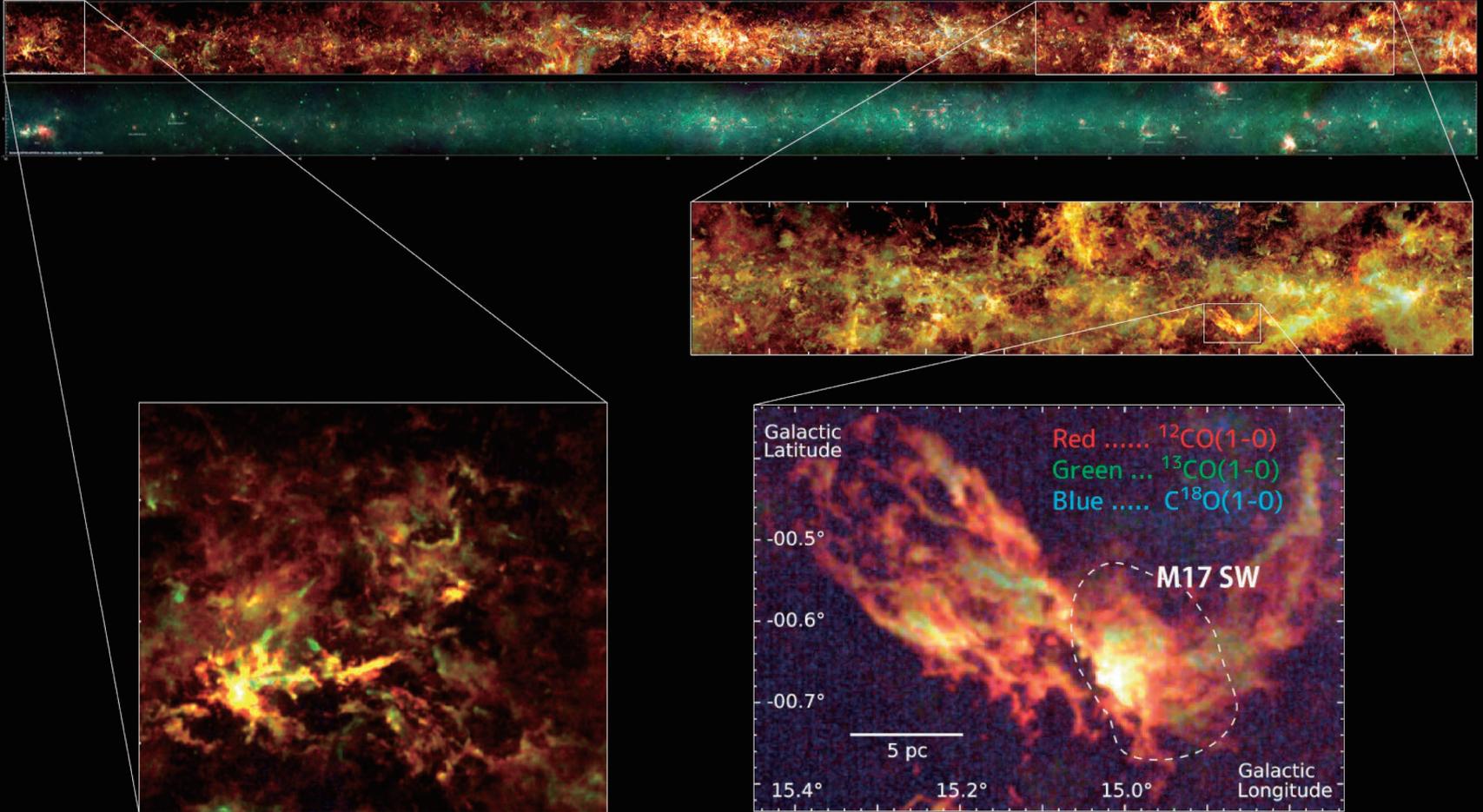
野辺山宇宙電波観測所。一番奥の大きなパラボラ・アンテナが、レガシー観測で使用された45 m電波望遠鏡。



レガシー観測を含めた近年の野辺山45 m電波望遠鏡の観測で、主力装置として使用されている受信機FOR-ESTの外観（左）と内部（右）。

風神 FUGIN

FOREST Unbiased Galactic plane Imaging survey with Nobeyama 45-m telescope



NINS NAOJ NOBEYAMA FOREST

Credit: NAOJ/NASA/JPL-Caltech

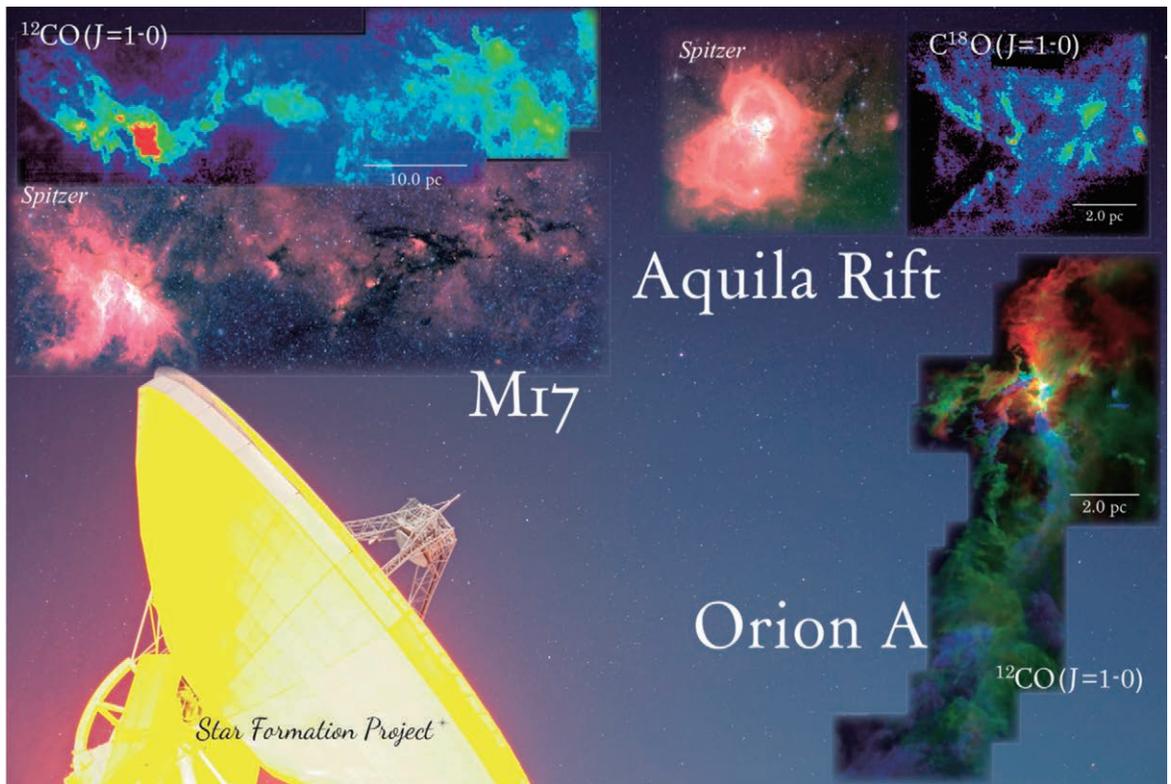
上段上: FUGINにて得られた, 銀経10-50度における天の川3色電波画像. 赤: ^{12}CO , 緑: ^{13}CO , 青: C^{18}O の分子からの電波強度.

上段下: 上段上と同じ領域のSpitzer衛星による赤外線画像. 赤: $24\ \mu\text{m}$, 緑: $8\ \mu\text{m}$, 青: $5.8\ \mu\text{m}$ の赤外線強度.

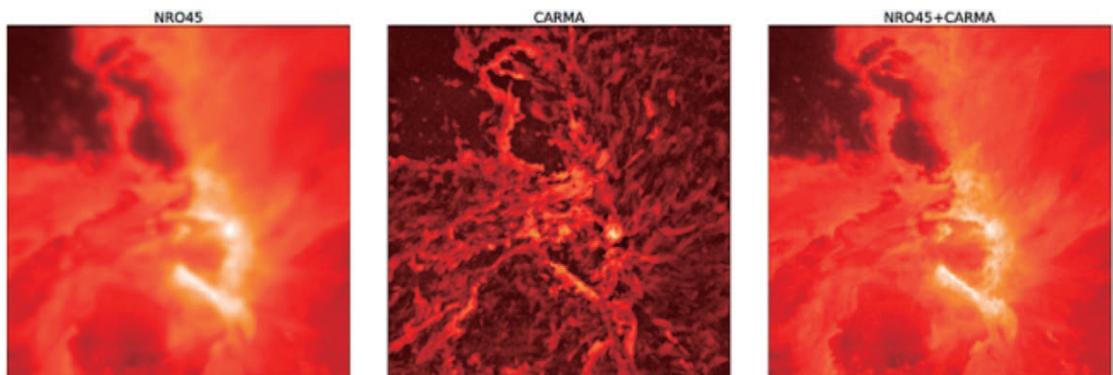
下段上: FUGINにて得られた銀経12-22度の3色電波画像. 配色は上段上と同様. 多数のフィラメント構造が分かる.

下段左下: 天の川銀河で最も活発な大質量星形成領域の一つ, W51付近の拡大図. 配色は上段上と同様.

下段右下: 大質量星形成領域M17付近の拡大図. 複雑に入り組んだフィラメントが見える. 配色は上段上と同様.

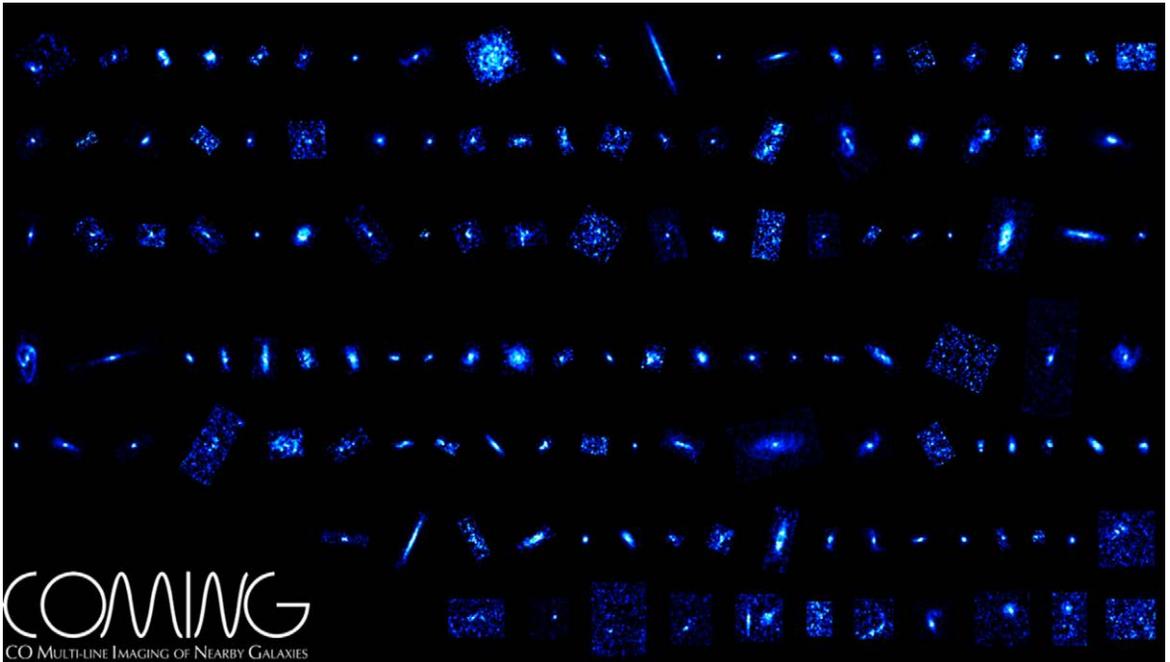


星形成プロジェクトによるオリオンA分子雲, Aquila Rift, M17.

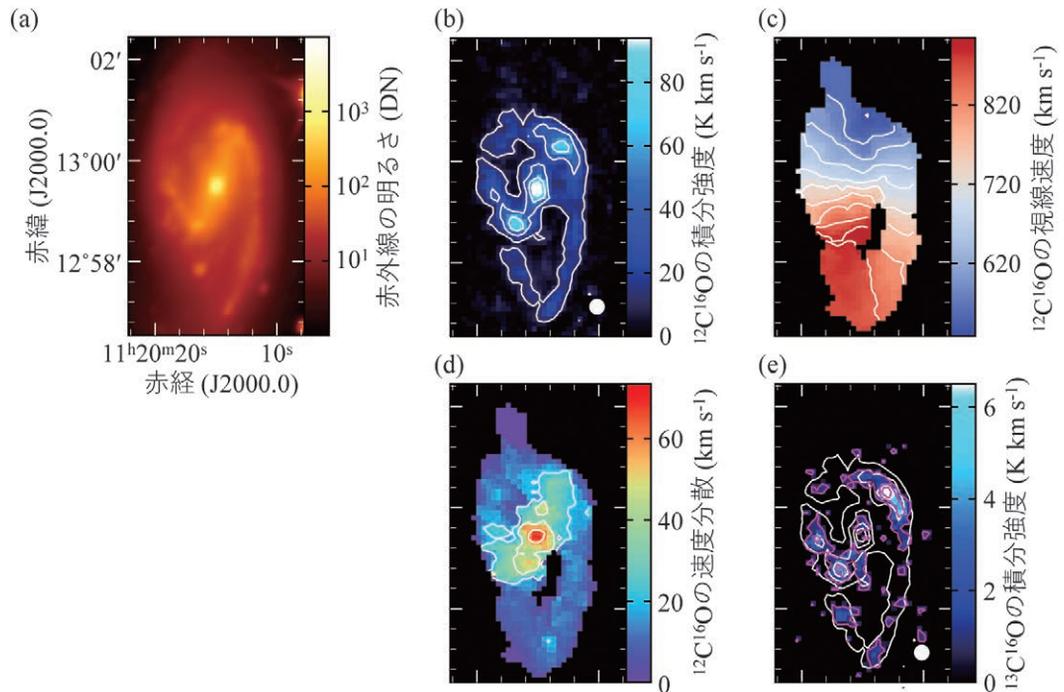


オリオンA分子雲での、野辺山45 m鏡とCARMAのデータ合成の様子¹.

¹ Kong, S., et al., 2018, ApJS, 236, 25



COMINGで取得した全147銀河の $^{12}\text{C}^{16}\text{O}$ $J=1-0$ スペクトル線の積分強度図.



棒渦巻銀河 NGC 3627. (a) WISE $3.4\ \mu\text{m}$, (b) COMING の $^{12}\text{C}^{16}\text{O}$ $J=1-0$ スペクトル線の積分強度, (c) 同速度場, (d) 同速度分散, (e) $^{13}\text{C}^{16}\text{O}$ $J=1-0$ スペクトル線の積分強度. 白いコンタは (b) と同じ².

² Sorai, K., et al., 2019, PASJ, 71, S14